

文の成分 修飾と被修飾の関係 解答

例文「夏の」などのように、体言（「太陽（が）」 名詞などで主語になることができる言葉）を修飾する言葉を連体修飾語といい、「ぎらぎらと」などのように、用言（「かがやく」 動詞・形容詞・形容動詞などの述語となることのできる言葉）を修飾する言葉を連用修飾語といいます。

例 夏の 太陽が ぎらぎらと かがやく。

問 次の文の [ ] 部のことは修飾語です。それは(A)連体修飾語ですか、(イ)連用修飾語ですか。( ) にア・イの記号で答えを書きなさい。

- 1 弟は [き]のう 遠足に 行った。 ( ) イ ( )
- 2 ゆっくりと [ ] 船が 港に 近づく。 ( ) イ ( )
- 3 [ ] うちには 犬が 一匹 いる。 ( ) イ ( )
- 4 [ ] わたしの 家には 池が ある。 ( ) ア ( )
- 5 [ ] 明日、デパートへ 買い物に 出かける。 ( ) イ ( )
- 6 彼女の [ ] やさしい しぐさを 見る。 ( ) ア ( )
- 7 あたたかい [ ] 春の 風が ふく。 ( ) ア ( )
- 8 弟は [ ] めったに 病気を しない。 ( ) イ ( )
- 9 [ ] あの チームは とても 強い。 ( ) ア ( )